

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-20	中学校	道徳科	道徳	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳 903	中学道徳 3 きみがいちばんひかるとき		

1. 編修の基本方針

生徒一人一人が自信をもって生きていくために

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、これからの学校には、一人一人の生徒が、

- 自分のよさや可能性を認める
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- 多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化に対応する
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

ことができるように育んでいくことが、求められています。私たちは、これらの実現を旨として、3つの方針に則って教科書を編修しました。

1 成長に寄り添い、効果的な学びを!



- 年間を3つのシーズン（まとまり）に区切り、学校生活の流れと、生徒の1年間の成長を考慮した構成にしました。
- シーズンを、テーマをもったユニットに分け、一つ一つの学びが効果的につながるよう、教材の配列を工夫しました。

2 主体的・対話的で深い学びを!



- 生徒の主体的・対話的な学びが促せるよう、1時間1時間、何について考えるのかを明示しました。
- 1時間の学びを、他教科や日常生活、これまでの道徳の時間に学んできたこととつなげられるように工夫しました。

3 「学びに向かう力」を育むために!



- 35時間の中に、学びの見直しをもつ時間・学びを振り返る時間を位置づけました。
- 生徒が、自己肯定感を高めるとともに、「自分の学びを意味づける力」を身につけられるよう、教材化しました。

1

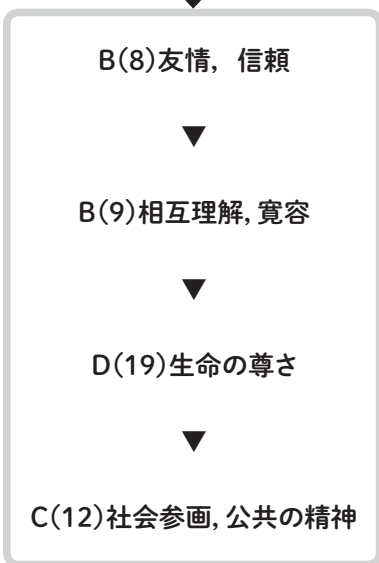
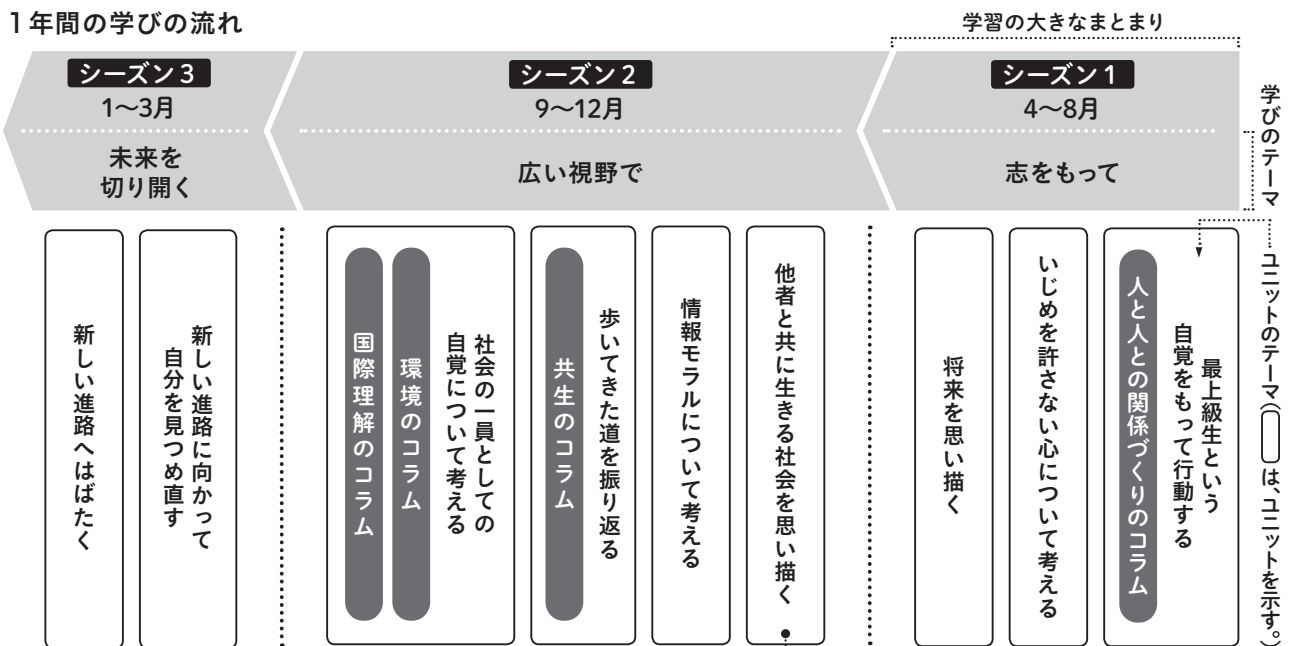
成長に寄り添い、効果的な学びを!



成長に寄り添った年間構成の工夫

- 学校生活の実態と、それに伴う生徒の成長を考慮した年間構成となるよう、1年間の3つのシーズン(まとめ)に分けました。
- シーズンの冒頭には、「学びのテーマ」と、作家あさのあつこさんによる語りかけの言葉を掲げたとびらを設け、学びの入り口としました。
- 各シーズンは、「学びのテーマ」に応じて、複数の教材を組み合わせた「ユニット」で構成しています。ユニットにも、「学びのテーマ」に応じたユニットごとのテーマを掲げています。

1年間の学びの流れ



「ユニット」化で効果的な学びを実現

ユニット内の教材は、1時間の学びが、単独ではなく、教材から教材へと有機的に結び付くよう配慮しています。

例えば、シーズン2「広い視野で」のユニット「他者と共に生きる社会を思い描く」では、友情から相互理解へと考えを広げ、命を巡って多面的に考えを深めたうえで、よりよい社会を実現するために大切なことは何かについて考えていくという、学びの流れになっています(左図)。ユニットを通して効果的に学ぶことができます。また、これらのユニットは、教科書192ページに示した、「この教科書が目ざした3年生の姿」に向かう構成となるよう意識しています。

もちろんこれらの配列は絶対的なものではなく、各学校の教育目標に照らして、並び替えたり教科書以外の教材と併用したりすることも可能です。

シーズン2 広い視野で
「他者と共に生きる社会を思い描く」
の学びの流れ

2 主体的・対話的で深い学びを!



主体的・対話的な学びの姿，多面的・多角的な見方を引き出す「てびき」

p.81 ⑩「闇の中の炎」

考えよう

法やきまりを守る心の源とは、何だろう。



- 画集を見て「描ける。これならきっと。」と思ったとき、理沙は、どんな絵が描けると思ったのだろう。
- 夢中で鉛筆を走らせながら、理沙は、何を考えているだろう。

見方を変えて

- 理沙の父は、理沙に、どんなことを伝えたかったのだろう。

つなげよう

- 自分や相手の権利を守るとは、どういうことだろう。また、果たさなければならない義務とは、どんなものだろう。

考えよう

生徒が、教材を通して何を学ぶのか（めあて）をはっきりと意識することができるようになりました。

次に、めあてに迫るため、次のような2つの問い「●」を設定しました。

- ① 道徳的な問題を明らかにする問い(課題の設定)
- ② 道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い(中心となる発問)

また、最後にもう一度、「考えよう」に掲げためあてに戻ることで、本時のまとめができるようになっています。

見方を変えて

生徒が、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう、「考えよう」とは切り口を変えた問いを設定しました。

つなげよう

他教科や日常生活との関連、他教材との関連、関連する図書の紹介等を、教材の特質に合わせて示しています。道徳の学びが1時間の授業で終わってしまうのではなく、そこからさらに深く考えたり、行動につなげたりできるよう工夫しました。

学びを確実なものに——「深めたいむ」

年間に3か所、複数時間で取り組む教材「深めたいむ」を用意しました。読み物教材で学んだ道徳的価値を、活動を通して確かめ、さらに深く実感を伴って考えることができるよう工夫しました。特に、いじめ問題と情報モラルに関わる内容については、全学年で取り上げ、生徒たちの身近で起こりそうな場面を通して、自分のこととして捉え直すことができるようにしました。

p.36-37 ⑥「三年目の『ごめんね』(いじめを許さない心について考える)





学びの見通しをもつこと・学びを振り返ることの大切さ

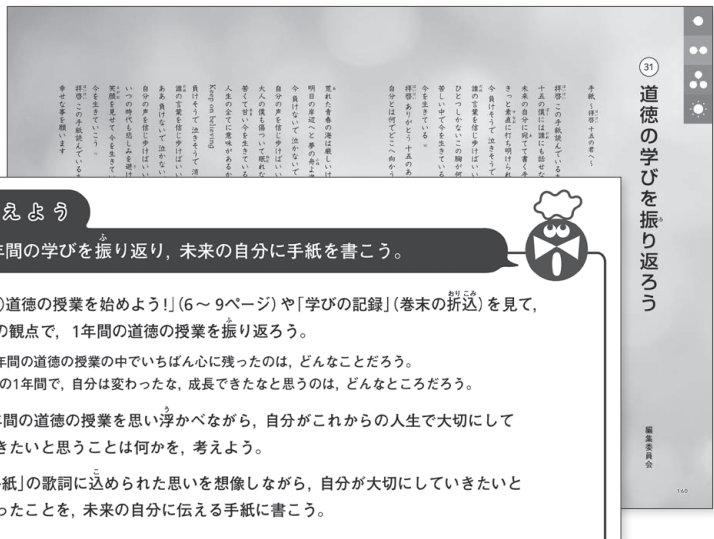
- 第1教材には「道徳の授業を始めよう!」、最終教材には「道徳の学びを振り返ろう」を位置づけました。
- 「道徳の授業を始めよう!」では、道徳を学ぶ価値について考えます。3年は、道徳という教科では「何を学ぶのか」、「なぜいっしょに学ぶのか」を確認します。(1年では、「どのように学ぶのか」、2年ではさらに「なぜ学ぶのか」を考えています。そのうえで、3年「なぜいっしょに学ぶのか」が積み上げられます。)1年間の学びの見通しをもち、学びに向かう姿勢を整えることができるよう、工夫しました。

p.8-9



p.160-161

- 「道徳の学びを振り返ろう」では、1年間に学んできたことを振り返り、自分の学びにはどのような意味があったのか、どのような価値があったのかを自己評価できるよう、工夫しました。学びが、自分の中でどのように生きているかを評価したり意味づけたりする力を養うことは、「学びに向かう力」を育むことにつながります。



p.162

全ての生徒にとって使いやすく、わかりやすく

特別支援教育への配慮

教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

人権上の配慮

教科書全般にわたって、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別による偏りがないようにするとともに、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、人権に配慮した記述としました。また、人権教育の専門家に、全面的な校閲をお願いしました。

保護者への配慮

第1教材や巻末の「先生方・保護者の方々へ」などで、この教科書が目ざすところを保護者にも発信し、学校、家庭、地域の連携を図りました。

2. 対照表

[第3学年]

図書の内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった生徒へのメッセージを掲載した。	第一号、第二号	表2-1
1 道徳の授業を始めよう!	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うために、道徳を学ぶ意義を考えるとともに、疑問を追究していく態度や他者を尊重しながら意見交流すること、自分自身を見つめることの大切さを感じることができるようなページを設けた。	第一号、第二号	6-9
9 サグラダ・ファミリア—受け継がれていく思い			47-50
10 鉄腕アトムをつくりたい—人工知能研究は人間探究	幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	51-55
21 家族って? 家庭って?			108-111
〈広げよう〉人と人との関係づくり 自分を受け入れるために			30-31
11 がんばれ おまえ			56-58
18 私の再出発			96-99
19 足袋の季節			100-103
25 『落葉』—菱田春草	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	130-135
26 小さいこと			136-138
29 先人の言葉—「論語」			150-153
〈付録〉人生目標年表を書こう			186-187
2 礼儀正しさとは			10-13
6 三年目の「ごめんね」	他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	32-37
12 私がピンク色のキャップをかぶるわけ			60-62
〈付録〉35 手品師			175-178
4 二通の手紙			19-25
8 「リクエスト食」を支える			42-46
15 一票を投じることの意味	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号、第三号	72-76
16 闇の中の炎			77-83
17 ぼくの物語 あなたの物語			86-93
〈付録〉34 「サッカー」と「働くこと」			172-174
3 背番号10			14-18
7 小さな出来事			38-41
13 ソーシャル・ビュー—見えない人と楽しむ美術鑑賞			63-67
27 恩讐の彼方に	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	139-144
28 巣立ちの歌が聞こえる			145-149
〈付録〉32 出会いの輝き			164-166
〈付録〉33 アイツとオレ			167-171
〈広げよう〉共生 世界の子どもたちの状況			94-95
5 あの日 生まれた命			26-29
14 命の選択			68-71
22 海とストロー	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第四号	112-115
30 命と向き合う			154-159
〈広げよう〉環境「持続可能な開発目標(SDGs)」について知ろう			116-117
20 障子あかり			104-107
23 好いとっちゃん、博多	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	118-121
24 希望の義足			122-126
〈広げよう〉国際理解 本当に意味のある国際協力とは			127-128
31 道徳の学びを振り返ろう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、自主及び自律の精神を養うことができるよう、学習した道徳的価値やそれに関連した自分自身のことを振り返ることができるページを設けた。	第一号、第二号	160-162
なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	84-85
〈付録・広げよう〉人と人との関係づくり 自分も相手も大切にするには	教材と関連して、幅広い知識や豊かな人間関係を築こうとすることができる内容を付録として設けた。	第一号	179
〈付録〉茶道に込められた礼儀の心	教材と関連して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度が養える内容を付録として設けた。	第五号	184-185
〈付録〉日本の先駆者たち	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばそうとする態度を養うことができる内容を付録として設けた。	第一号、第二号	180-183
〈付録〉あなたへのメッセージ			190-191
学びの記録	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	折込

編修趣意書

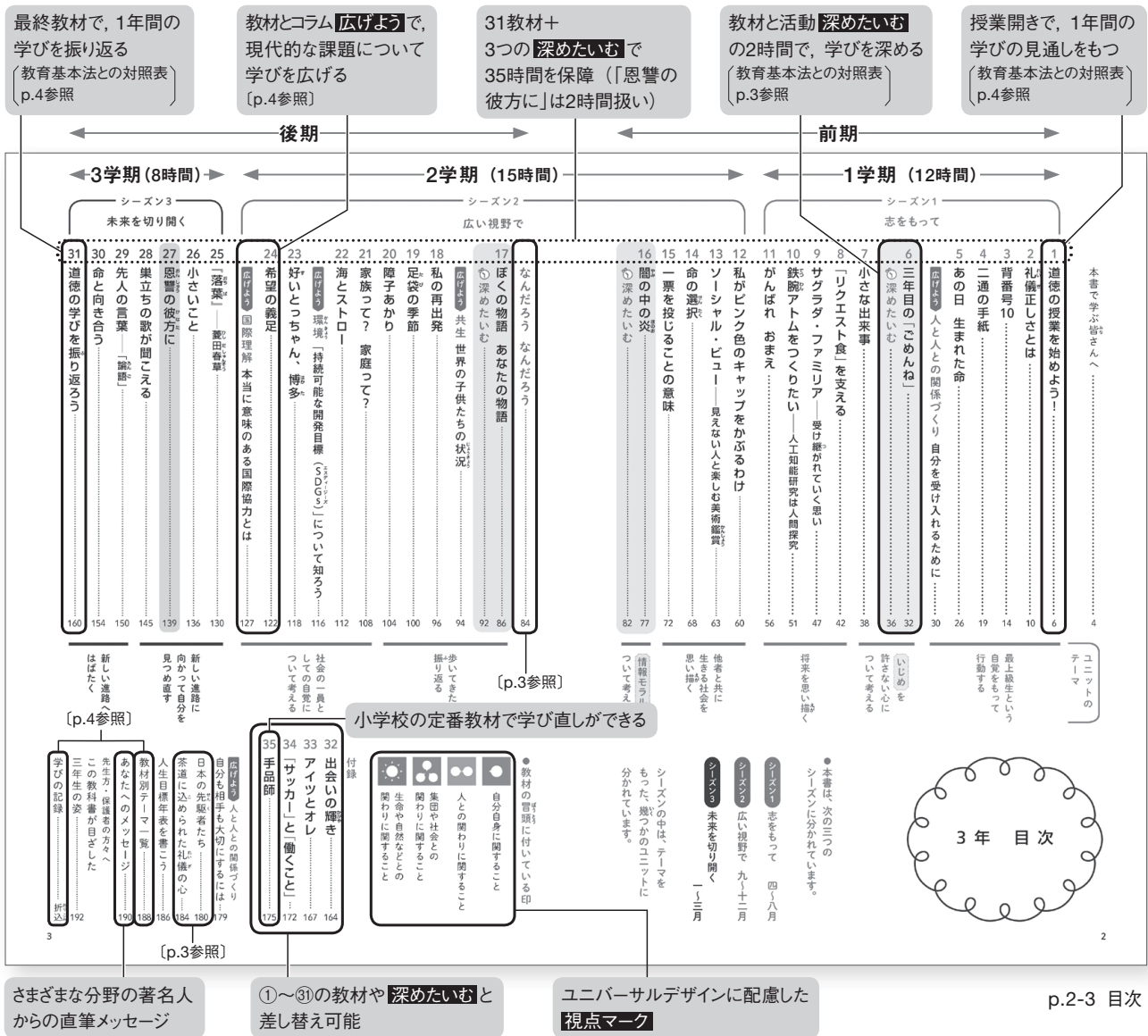
学習指導要領との対照表、配当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-20	中学校	道徳科	道徳	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳 903	中学道徳 3	きみがいちばんひかるとき	

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 教科書の構造が学びの質を高める!

生徒の発達段階、学校行事等との関連に意を用いながら、学びが必然性をもって連なっていくような構造を目ざしました。



2 教材の構成が授業を支える!

教材には、1時間の学びの道すじを示したてびきを用意し、ユニバーサルデザインや特別支援教育など多様性の観点から、見やすく読みやすい紙面にしました。

環境に配慮した紙に、植物性インキを用いて印刷

本文は読みやすいUDフォントを使用

コンパクトなB5判を採用

内容項目のタグの明示により、本時の大枠のねらいを把握

形と色で判別できる視点マーク

学びの道すじを示したてびき (教育基本法との対照表) p.3参照

p.60-62 ⑫「私がピンク色のキャップをかぶるわけ」

考えよう

友達は、どんなものだろう。

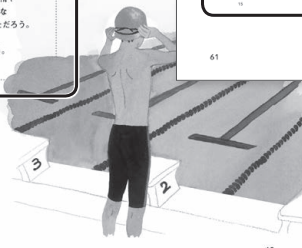
- Mがレースに出てこなくなったとき、「私」は、どうして嬉しい気持ちになったのだろう。
- 「私」は、どうしてMのことを、「大切な友達だ」と言えるのだろう。

bd 見方を変えて

- Mは、どんなことを考えながら「私」に手紙を書いたのだろう。

cd つなげよう

- これまでに、同性どうしの友達や親友の交流が、どんな場面で行われてきたか、どんなことを考えたか、どんなことを感じたかを書き入れてみよう。



私がピンク色のキャップをかぶるわけ

12 著者名を明示 (生徒作品 田中幸海 絵)

私の夢は水泳で全国大会に出ること。そのための毎日きつい練習を積み、週末には大会に出る。生活の大半を水泳が占めていて、そんな生活でも何年も続けています。

大会には、Mという毎回同じレースで泳ぐ選手がいる。同年代だが、私より十センチは背が高かった。レースを待つ招集所に行くと、Mはいつも静かなピンク色のキャップをかぶり、静かに集中していた。

Mと私が初めて同じレースに出てから五年がたった。その間、私とMのレースを共に泳いできた。しかし、一度も言葉も交わしたことがない。私もレース前にはしゃべらなからい。それが、入選の瞬間のどきどきだ。私に勝つのか、何と知らない。どんな声なのかさえわからない。しかし、五年間も共に泳いできた彼に、私には思いがけない外見が、その瞬間は私を驚かす気持ちになった。

「Mは静かだ...」

と言った。レースが終わり、それ以上の話はなかった。次の大会のとき、Kから、Mの手紙を受け取った。

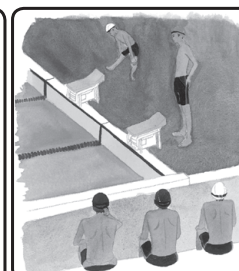
彼のことを気にかけてくれていたとKから聞いた。話したこともないやつに手紙を書くのも変だが、もう会うこともないだろうから、ちゃんと伝えたいと思う。

心臓がバクバクして、私は大きく息を吸って読み進めた。

彼は背水の陣で泳いでこなかった。おまえて同じように全国を目指してきたか、夢が絶たれて悔しい。もちろん、おまえては関係がない。気にする必要もない。だが、一つだけわがままを許してほしい。おまえてが行くところまで、俺も行きたい。おまえてが行かないところは、俺も行けなかつた。だから、おまえての記録を大切に守りたい。小さな体で必死に泳いだ俺のおまえての泳ぎが好きだった。一度おまえてと水泳の話がしたい。

ライバルへ、Mより。

頭の中が真っ白になった。Mはどんな気持ちでこれを書いたのだろう。彼の「わがまま」の中身も、勝手に自分も繰り返してこの五年間のことを書いて、心が震えた。初めて見たMの姿が、涙で目に閉じ、「ライバル」の文字をよみかたに読み替えた。その日以来、私はピンク色のキャップをかぶるようになった。言葉は交わさなくても、私たちはライバルであり、同志であり、そして大切な友達だ。



「私」は、思い切つてMと同じクラブのKという選手に会い、話をした。Kは「Mは静かだ...」と言った。レースが終わり、それ以上の話はなかった。次の大会のとき、Kから、Mの手紙を受け取った。彼のことを気にかけてくれていたとKから聞いた。話したこともないやつに手紙を書くのも変だが、もう会うこともないだろうから、ちゃんと伝えたいと思う。心臓がバクバクして、私は大きく息を吸って読み進めた。彼は背水の陣で泳いでこなかった。おまえてと同じように全国を目指してきたか、夢が絶たれて悔しい。もちろん、おまえては関係がない。気にする必要もない。だが、一つだけわがままを許してほしい。おまえてが行くところまで、俺も行きたい。おまえてが行かないところは、俺も行けなかつた。だから、おまえての記録を大切に守りたい。小さな体で必死に泳いだ俺のおまえての泳ぎが好きだった。一度おまえてと水泳の話がしたい。ライバルへ、Mより。

理解を促す挿絵や臨場感あふれる写真を多用

朗読や動画など、興味・関心を引くデジタルコンテンツを用意

体験的な学習(役割演技)を通して、実感をもって道徳的価値について考えを深めていくてびきも用意

見方を変えて

疑問は、何のためにあるのだろう。

- 完さんは、疑問を知っているが、どうして疑問を動物園の中に入れたのだろう。
- 完さんが、「この年になって初めて考えさせられたのは、どんなことだったのだろう。」

見方を変えて

- もし、入園終了時間直後の動物園がやって来た場面に戻れたとしたら、完さんは、どう思うだろう。
- 完さんと動物園を訪れて、考えよう。
- 「誰かいるのを待っていたら、完さんの動物園のやり取りが、どんなことを感じたかを表現しよう。




9 サグラダ・ファミリア

受け継がれていく思い

建築家アントニ・ガウディとサグラダ・ファミリア




スペイン、バルセロナの空高くそびえるサグラダ・ファミリア。一八八二年に着工したこの教会は、その翌年、建築家のアントニ・ガウディが設計を引き継ぎ、未完のまま今も建設が続いている。

ガウディは、三十歳でサグラダ・ファミリアの主任建築家になってから、建設を通じてこの教会の建ち上がるまで続けた。建築を美術と捉えた。独創的で壮麗な教会。それが、ガウディの構想していたサグラダ・ファミリアだ。

ガウディは、この壮大な教会が、自分の死後も語り継がれ、生き続けることを信じていた。だから、自分の生き残りも建設が続くように、手本となる設計図や模型を作り、その実現を未来に託した。

ガウディは、この道を歩いている。

「この教会を完成できないことは、悲しいことではない。必ず、後を継ぐ者が現れ、仕上げに命を吹き込んでくれる。」

アントニ・ガウディ (1868-1926)


p.19-25 ④「二通の手紙」

p.47-50 ⑨「サグラダ・ファミリア—受け継がれていく思い」

3 「生きて働く」 道徳性を養う!

毎時間、生徒が興味・関心をもって授業に取り組めるよう、さまざまなジャンルの素材を、多面的・多角的に考えることができる教材にしました。

10 鉄腕アトムをつくりたい
— 人工知能研究は人間探究 —



鉄腕アトムのようなロボットをつくりたいと、人工知能(AI)研究を続ける松原さんのお話

p.51-55 ⑩「鉄腕アトムをつくりたい—人工知能研究は人間探究」

22 海とストロー



海の中に浮かぶ「マイクロプラスチック」の海から海を守る...

p.112-115 ⑳「海とストロー」

鉄腕アトムのようなロボットをつくりたいと、人工知能(AI)研究を続ける松原さんのお話

人間の便利な生活が、未来に与える影響について考える教材

生徒の日常生活にありがちな場面や判断を求められる場面とつなげて考えられる教材で、問題解決的な学習を実現

29 先人の言葉 — 論語 —



人間の生活についていろいろ考えたとき、先人の言葉は、今も私たちの生活に大きな影響を与えています。

p.150-153 ㉑「先人の言葉—『論語』」

教材と結び付けて考えたり、住んでいる地域と関連させて考えたりすることができる、主体的な学びを促すコーナーを適切に配置しました。

「なんだろう なんだろう」



p.84-85「なんだろう なんだろう」

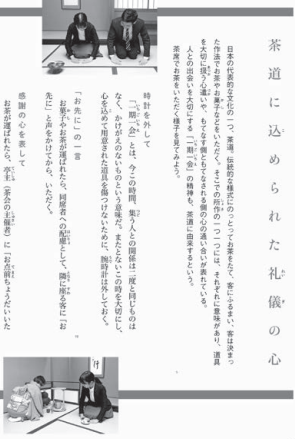
日本の先駆者たち



1 新井 新渡戸稲造 (1862-1937) 教育者
2 神原 鈴木徳太郎 (1874-1943) オリザニン(セレンゲル)の発見
3 岡本 本村安兵衛 (1817-1883) 日本人に受け入れられるための研究を行う。

p.180-183「日本の先駆者たち」

茶道に込められた礼儀の心

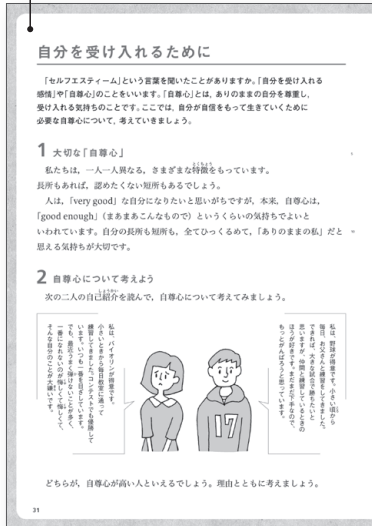


「お先にどうぞ」 「いただきます」 「ごちそうさまでした」 「お先にどうぞ」 「いただきます」 「ごちそうさまでした」

p.184-185「茶道に込められた礼儀の心」

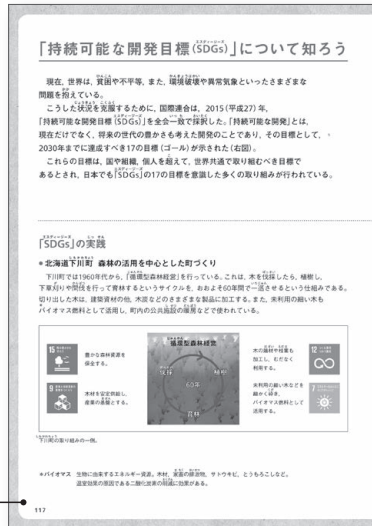
いじめ問題をはじめ、生徒に考えてほしい「現代的な課題」について、教材と結び付けて考えられるようなページを用意しました。

他者とのよりよい関係を築くコツがわかるコラム「**広げよう**」 「人と人との関係づくり」を2か所に掲載。いじめの抑止につなげます。



p.30-31「**広げよう**」人と人との関係づくり「自分を受け入れるために」

p.116-117「**広げよう**」環境「『持続可能な開発目標(SDGs)』について知ろう」



現代的な課題の中でも特に考えてほしい、共生や環境、国際理解についても掲載。

現代的な課題との関連がひと目でわかる、「教材別テーマ一覧」を掲載。

教材	二工のキーワード											
	指定なし	① 暮らしのために	② 数値・健康	③ キャリア	④ 法律	⑤ 福祉・未来						
1 道徳の授業を始めよう！												
2 社会正義とは												
3 道徳第10												
4 二進の年紙												
5 あの日生れた命												
6 三進目の「めんめん」												
7 小さな出来事												
8 「フグとスズキ」を学ぶ												
9 サラダ・フレンチ												
10 数学の面白さを伝えよう												
11 環境・人工知能研究は人間に劣る												
12 私達ピンク色のキャンパスをかぶるわけ												

p.188-189「教材別テーマ一覧」

シーズン（学期）ごとに使える、切り取り式の「学びの記録」を用意しました。

生徒自身が学びの変容や成長を振り返ることができるとともに、先生方が長期的に生徒を見取っていく材料の一つとして活用することもできます。表裏1枚で1シーズン分の見やすい体裁です。



巻末折込「学びの記録」シーズン3

p.186-187「人生目標年表を書こう」



卒業を前に、自分の将来について考えることができるページを設けました。

2. 対照表

[第3学年]

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当頁	配当時数	配当学期	
	視点※1							内容項目
	A	B	C	D				
巻頭詩					表2-1			
志をもって	1 道徳の授業を始めよう!	○	○	○	○	内容項目を限定しない	6-9	1
	2 礼儀正しさとは		○			礼儀	10-13	1
	3 背番号10		○			思いやり, 感謝	14-18	1
	4 二通の手紙			○		遵法精神, 公德心	19-25	1
	5 あの日 生まれた命				○	生命の尊さ	26-29	1
	6 三年目の「ごめんね」 深めたいむ	○				自主, 自律, 自由と責任	32-35 36-37	1 2 (1) (1)
	7 小さな出来事			○		公正, 公平, 社会正義	38-41	1
	8 「リクエスト食」を支える			○		勤労	42-46	1
	9 サグラダ・ファミリア—受け継がれていく思い				○	感動, 畏敬の念	47-50	1
	10 鉄腕アトムをつくりたい—人工知能研究は人間探究	○				真理の探究, 創造	51-55	1
	11 がんばれ おまえ	○				向上心, 個性の伸長	56-58	1
広い視野で	12 私がピンク色のキャップをかぶるわけ		○			友情, 信頼	60-62	1
	13 ソーシャル・ビュー—見えない人と楽しむ美術鑑賞		○			相互理解, 寛容	63-67	1
	14 命の選択				○	生命の尊さ	68-71	1
	15 一票を投じることの意味			○		社会参画, 公共の精神	72-76	1
	16 闇の中の炎 深めたいむ			○		遵法精神, 公德心	77-81 82-83	1 2 (1) (1)
	なんたろう なんたろう	○				自主, 自律, 自由と責任	84-85	
	17 ぼくの物語 あなたの物語 深めたいむ			○		公正, 公平, 社会正義	86-91 92-93	1 2 (1) (1)
	18 私の再出発	○				希望と勇気, 克己と強い意志	96-99	1
	19 足袋の季節				○	よりよく生きる喜び	100-103	1
	20 障子あかり			○		我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	104-107	1
	21 家族って? 家庭って?			○		家族愛, 家庭生活の充実	108-111	1
未来を切り開く	22 海とストロー				○	自然愛護	112-115	1
	23 好いとっちゃん, 博多			○		郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	118-121	1
	24 希望の義足			○		国際理解, 国際貢献	122-126	1
	25 『落葉』—菱田春草	○				希望と勇気, 克己と強い意志	130-135	1
	26 小さいこと	○				節度, 節制	136-138	1
	27 恩讐の彼方に		○		○	相互理解, 寛容/よりよく生きる喜び	139-144	2
	28 巣立ちの歌が聞こえる			○		よりよい学校生活, 集団生活の充実	145-149	1
29 先人の言葉—「論語」	○				向上心, 個性の伸長	150-153	1	
30 命と向き合う				○	生命の尊さ	154-159	1	
31 道徳の学びを振り返ろう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	160-162	1	
付録	32 出会いの輝き		○			思いやり, 感謝	164-166	
	33 アイツとオレ		○			相互理解, 寛容	167-171	
	34 「サッカー」と「働くこと」			○		勤労	172-174	
	35 手品師	○				自主, 自律, 自由と責任	175-178	
	日本の先駆者たち	○				希望と勇気, 克己と強い意志/真理の探究, 創造	180-183	
	茶道に込められた礼儀の心		○			礼儀	184-185	
	人生目標年表を書こう				○	よりよく生きる喜び	186-187	
					合計時数		35	

※1 視点の内容 A:主として自分自身に関する事 B:主として人との関わりに関する事 C:主として集団や社会との関わりに関する事 D:主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関する事

※2 は複数時間扱いの教材を表す。